

瑞宝双光章

永濱哲夫さん
(古市)

永濱さんは昭和35年から教員として26年、教頭2年、校長4年、社会教育主事5年、指導主事1年にわたり、学校教育や社会教育、PTA活動の発展に貢献されました。退職後は環境省自然公園指導員として長年尽力し、平成22年に自然環境局長表彰、令和3年に環境大臣表彰を受賞されています。これらの功績により、この度叙勲の栄に浴されました。おめでとうございます。



特別叙勲
旭日单光章

故 景山孝志さん
(三沢)

景山さんは、平成11年5月から2期5年11月にわたり仁多町議会議員を、平成17年5月から3期12年にわたり奥出雲町議会議員を務められ、その間、奥出雲町議会において、議会運営委員会委員長、尾原ダム地域開発特別委員会委員長等を、平成25年5月からは奥出雲町議会議長を約2年間歴任され、豊かで潤いのある町を築くため、道路網の整備、農業基盤の整備、教育・福祉・医療施設の整備など、地方自治の振興と住民福祉の向上に貢献されました。これらをはじめとする多数の功績により、この度叙勲の栄に浴されました。

地域に寄り添う医療の拠点
町立奥出雲病院附属
横田診療所開所式



4月6日、町立奥出雲病院附属横田診療所の開所式が行われ、横田地域の医療の拠点が新たな一歩を踏み出しました。長年にわたり地域医療を支えてこられた「永生クリニック」の閉院を受け、その場所と想いを引き継ぐ形で開設された診療所です。式では、看板を披露する除幕式が行われ、会場は温かな拍手に包まれました。町立奥出雲病院の鈴木賢二院長は、「地域を思う心をしっかり受け継ぎ、病院と密に連携しながら、身近で頼れる窓口となるよう努めたい」と述べられました。また、岡正登詩横田診療所長は、「奥出雲病院の附属診療所として、電子カルテなどを繋げるなど連携を高め、患者様にご満足いただけるような診療をしていきたい」と抱負を語りました。これからも地域に寄り添う、かかりつけとして、多くの方に親しまれる診療所となることが期待されます。



▲挨拶をする鈴木院長



奥出雲町と島根大学教育学部
幼児教育に関する協定を締結

3月13日、島根大学教育学部附属幼稚園「木音の部屋（もねのへや）」において、奥出雲町と島根大学教育学部による「幼児教育に関する協定締結式」が行われ、学校法人仁多学園の理事長も務める糸原町長と、川路澄人島根大学教育学部部長が協定書に署名し、今後の連携強化を確認しました。

この協定は、4月に開園した「よこたごも園」において、先進的な理論や専門的知見に基づいた幼児教育を推進することを目的としています。今後は、附属幼稚園を窓口として、教員の派遣や幼児教育に関する研究・研修、教育環境の整備など、多方面での連携が進められます。

また、現在整備を進めている木の交流施設「じゅじゅもく（仮称）」においても、附属幼稚園の木育の取り組みや「木音の部屋」で培われた知見を活かした連携が図られる予定です。

本協定を通じて、奥出雲町では、自然環境教育の推進や、発達支援の推進、郷土を愛し未来を生き抜く力を育む教育の推進を図ります。

島根大学においても、地域における中核幼稚園としてのプレゼンス向上、幼稚園教育（国立附属幼稚園）の意義をアピール、附属幼稚園教諭の資質向上につなげていきます。



▲島根大学 川路 澄人 教育学部部長(右)

放課後児童クラブ
にた児童クラブ開所式

4月2日、にた児童クラブの開所式を行いました。小学校の統合に伴い、これまで布勢・三成・亀高・阿井・三沢で実施していた放課後児童クラブを統合し、新たに開所しました。

利用登録児童は、158名となり、新しい場所での支援員や仲間と一緒に生活していきます。放課後児童クラブは、保護者の就労等により学校から帰宅後、家庭に保護者がいない小学生に遊びや生活の場所を提供するところです。利用の際は事前登録が必要です。詳しくはご家庭支援課（54-2504）までお問い合わせください。



にた児童クラブ玄関前(仁多小学校内)

感謝状贈呈

新たな学び舎に感謝を込めて

《感謝状被贈呈者》

- 【建設関係者】
- 株式会社糸賀工務店様
- 有限会社福岡工務店様
- 有限会社勝山建設様
- 三和電工株式会社様
- 株式会社日新電工様
- アクアシステム株式会社様
- 島根水道株式会社様
- 株式会社中林建築設計事務所様
- 【校歌作詞作曲】
- 糸賀修平さん

4月に開校した仁多小学校。その整備にあたり、多大なるご尽力をいただいた皆さまへ感謝状が贈呈されました。また、子どもたちが日々歌い親しむ校歌の作詞作曲を手がけられた糸賀修平さんにも、その功績をたたえ感謝状が贈呈されました。

長年の功績を称えて

《感謝状被贈呈者》

- 石原 晴代さん
- 植田 美由紀さん
- 踏江 つや子さん
- 福岡 京子さん
- 若月 ゆかりさん
- (写真順)

長年にわたり「結婚・子育てコシシエルジユ」として人と人とのつながりづくりから出産・育児・保健指導など次世代への継承と相談解決に多大な貢献をされた5名の方に対し、奥出雲町町制施行20周年を記念し、感謝状が贈呈されました。



広報 奥出雲



▲仁多ショッピングセンター サンクス 中林啓和副理事長、仁多ショッピングセンター サンクス 石田正博理事長、糸原町長、三島啓介仁多小学校長(右から)

協同組合仁多ショッピングセンター
サンクス様から仁多小学校へ
ご寄附をいただきました

4月14日、協同組合仁多ショッピングセンターサンクス様より、4月に開校した仁多小学校へご寄附をいただきました。

サンクスの石田正博理事長は、「創業から40年を節目に、地元の子どものためになにかしてあげたいと従業員で話し合った。仁多の子どもたちが元気に大きくなるよう、教育の現場で役立ててもらいたい」と話されました。

寄付を受けた仁多小学校の三島啓介校長は、「地域の皆様からの大きな期待をいただいていることを実感している。このような厚意に応えられるよう、教職員一同、子どもたち一人ひとりの可能性を大切に育んでまいります。」と感謝を述べられました。いただいた寄附金は、仁多小学校の教育環境の充実に活用してまいります。